

## オドリコソウ と ヒメオドリコソウ

オドリコソウはやや暗い湿ったところを好む多年草で、花の姿が笠をかぶった踊り子に見立てて和名がつけられました。オドリコソウが白い花なのに対して、帰化植物のヒメオドリコソウは紅紫色の小さな花で、同じ仲間とは思えない姿です。ヒメオドリコソウは、朝霧高原の牧草地などには早くから入っていましたが、富士市には遅れて1980年代から急激に増えました。葉の切れ込みが大きなモミジヒメオドリコソウも少数ですが見られます。

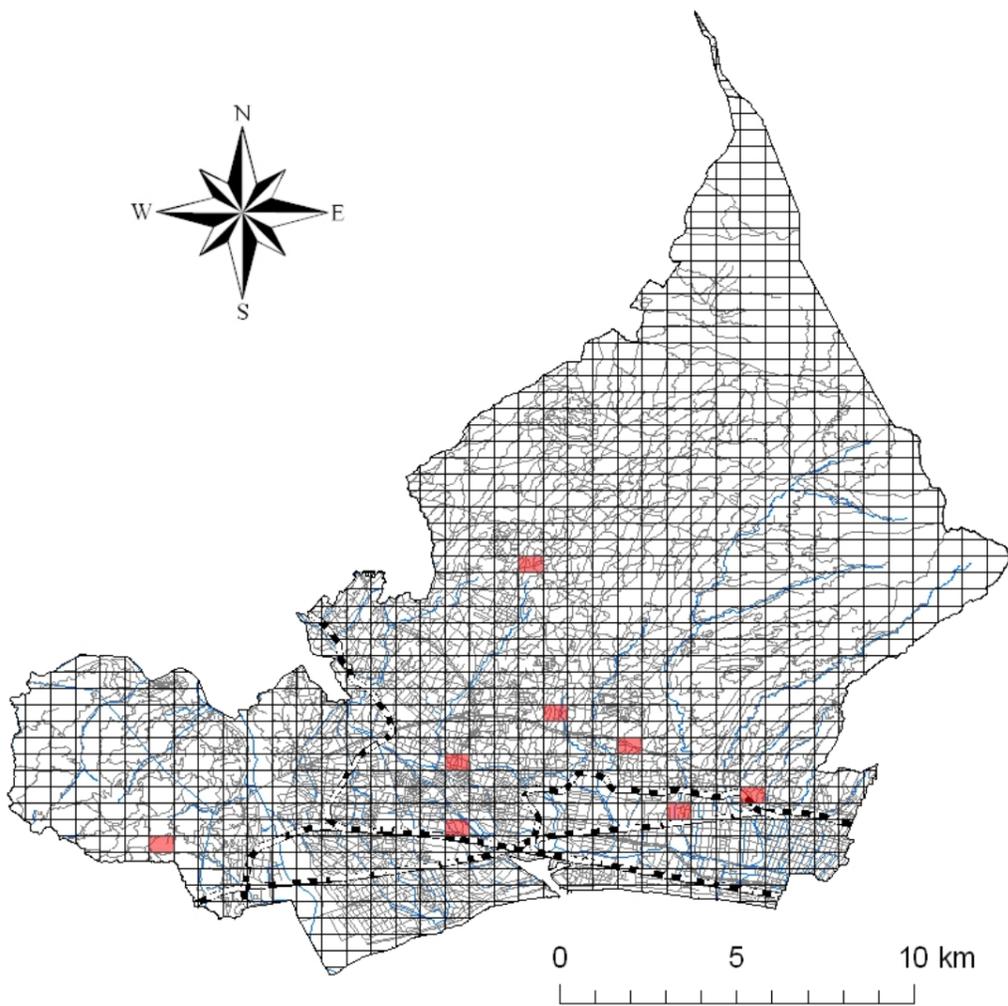
オドリコソウ



ヒメオドリコソウ



オドリコソウを確認したメッシュ



ヒメオドリコソウを確認したメッシュ

